

2025年度「MDSJ海外派遣プログラム」募集要項

目的：

日本パーキンソン病運動障害疾患学会（MDSJ）は、パーキンソン病・運動障害疾患の基礎研究または臨床研究を目的とした海外留学研修（期間は3ヶ月以上）を推奨するため、若手の学会員を対象に、旅費・滞在費の支援を行います。初めて海外での研修を計画されている会員の積極的な応募を期待します。

尚、この助成事業はアッヴィ合同会社からの支援を受けて行われます。

対象者：

- 1 50歳（2026年1月15日時点）までの日本パーキンソン病・運動障害疾患学会会員。会員歴3年以上で申請時に2025年度年会費を完納している者。現在、日本の大学、研究施設または大学以外の病院に所属。
- 2 2026年4月1日から2027年3月31日までに海外留学研修を開始できる見込みの者。

提出書類：

- 1 指定の申請書
- 2 代表的な発表論文（5編以内）
- 3 推薦状（推薦者はMDSJの評議員で、推薦できるのは1名までとする）
- 4 留学先の証明書（内諾の手紙・メールでも可）
- 5 指定のCOI申告書

御提出いただきました書類については、一切返却できません。

選考方法：

- 1 日本パーキンソン病運動障害疾患学会（MDSJ）の選考委員会にて最大2名が選ばれます。但し、少なくとも1名はパーキンソン病の研究テーマとします。
- 2 これまでに神経領域の基礎研究または臨床研究を目的とした海外留学研修（期間は3ヶ月以上）の経験のない方を優先して選考します。
- 3 他の比較的大型の海外留学支援制度（450万円以上）に決定（内定）している場合、留学中に給与支給が有る場合、その金額によっては選考の考慮対象となります。

給付：

該当者2名にそれぞれ総額 1,500,000 円が支給されます。

ただし、該当者が1名の場合には、総額3,000,000円が支給されます。

給付の方法：

出発前、派遣決定者が渡航計画を決定した時に、当該派遣決定者の銀行口座に全額振り込みます。口座確認書の提出をお願いします。

義務：

- 1 決定後、翌々年(2028年)3月までに「留学成果報告書」及び「会計報告書」を提出していただきます。(留学中の場合は、現況報告となります。)
- 2 原則として次のいずれかの方法で、帰国後 2 年を目途に海外留学研修の成果を発表していただきます。
 - ① MDSJ学術集会 (パーキンソン病・運動障害疾患コンGRESS等) での発表
もしくは
 - ② MDSJ Lettersへの留学報告の投稿

その他：

支援決定を受けた後、海外研修が中止、または 中断した場合、MDSJ理事会で検討し、給付金の返還を求めます場合がありますので、ご留意ください。

留学状況及び渡航状況が変更となった場合は、速やかに事務局へご連絡ください。

書類送付先：

一般社団法人 日本パーキンソン病・運動障害疾患学会 事務局 室山宛
すべてをPDFにし、1ファイルにして下記アドレスへお送りください。

mdsj2@secretariat.ne.jp

募集期間：

2025 年 12 月 1 日(月) から 2026年 1月 15 日 (木)